

提案タイトル

自動運転技術利活用による地域公共交通システムの構築

提案者

活用技術

高知県四万十市

自動運転

背景・課題

目指す
将来像

- 公共交通の確保、生活の安定が担保された魅力ある市街地及び利便性の高いサービス提供が可能な地域公共交通網の形成
- 運転手担い手不足が常態化する中、地域特性やニーズに対応した次世代型車両の導入

解決すべき
課題

- 高齢化地域での公共交通の担い手および公共交通不便地域での生活の足の確保に加え鉄道駅から本市拠点地域へのアクセス向上
- 維持管理費削減のため、運行経費削減に繋がる持続可能な地域公共交通システムの構築

実装を目指す主な事業内容

本市の拠点地域における移動手段となっているデマンド型交通について、段階的に自動運転技術及びIoT技術の導入による機能・運用改善を図り、新たなデマンド型の地域公共交通システムを形成する。

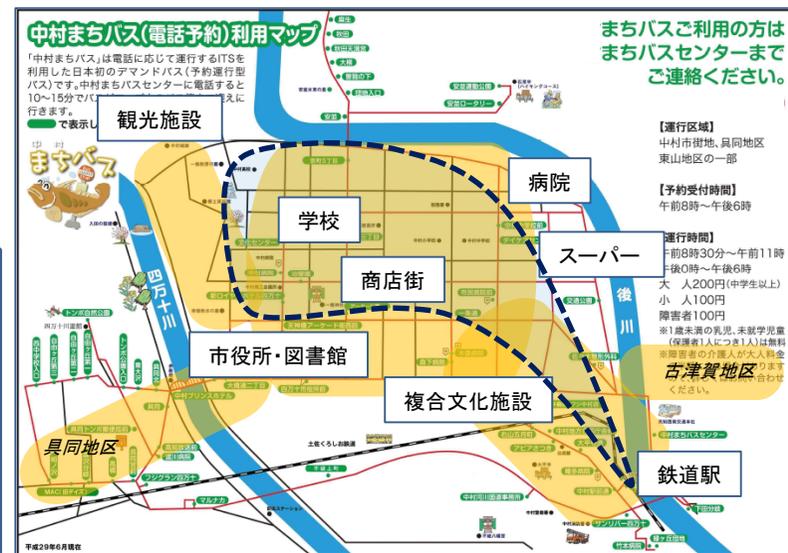
○事業：自動運転車両導入による本市拠点地域の移動円滑化・効率化

活用技術

事業概要

自動運転

- 本市拠点地域での公共交通手段として自動運転車両を導入
- 地域住民の生活の足及び観光客の移動手段を確保し、生活の質の維持及び市街地活性化を両立
- 既存の地域公共交通体系について、公共交通事業運営の段階的なコスト縮減・効率化を探る



「自動運転車両」と「まちバス」との役割分担(イメージ)



併用運行



“まちバス”
〔【デマンド型】システム搭載〕



統合・実装化

※市場環境が整った段階で、全天候型・中速型の自動運転車への入替



次世代型“まちバス”
〔【デマンド型】システム搭載〕

暫定的に導入予定の
“自動運転車両”

※現時点での想定範囲

実証実験に活用予定車両(イメージ)